



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱みさき		
保護者評価実施期間	2026年 1 月 20 日 ～ 2026年 2 月 7 日		
保護者評価有効回答数	(対象者数) 30	(回答者数)	14
従業者評価実施期間	2026年 1月 26日 ～ 2026年 1 月 30 日		
従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
事業者向け自己評価表作成日	2026年 2 月 27 日		

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出や室内イベントの充実	公共交通機関での外出、公共施設への外出、お買い物学習、室内イベント等を行っています。	長期休みの外出先が固定化している場所が多いので、お子様たちがより楽しめるように外出先の幅を広げていきたいと思っています。
2	活動スペースの広さ	部屋数が多いので、玩具で遊ぶ部屋、学習やお絵描きをする部屋、クールダウンをする部屋と状況に応じて使用することができています。	お子様の遊びに合わせて活動場所を区切り安全に気を付けていきたいと思っています。また、体調不良のお子様が出た場合は感染防止として別室で様子を見ます。
3	送迎サービス	送迎の職員をローテーションで替え、均等に保護者様の対応ができるように調整しています。また、保護者様のご都合に合わせて送迎の順番等の配慮を行っています。	管理者が送迎に出ることが少ないので、人員に余裕がある時は添乗で同行し対応する機会を増やしていきたいと思っています。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別の活動が手薄になっている	集団活動が中心のため。	集団活動の中にもお子様の発達状況によって個別の目標を設定したり、個別学習の内容を小まめに見直し新しい課題を設定していきます。
2	当日の振り返りができていないこと	送迎が終わったら就業時間になってしまうため、翌日に振り返りを行っている。	翌日だと失念してしまう可能性もあるので、重要事項はメモやグループLINEに記録を残す、帰る前に管理者に口頭で伝える工夫が必要だと思います。
3	担当者会議が実施できていない	各関係者との日程の調整が難しいため。	相談支援専門員を通して他事業所の様子を聞き連携を図ります。